

くいちがいし

かのはられきがん
—下仁田町の神農原礫岩—



花こう斑岩

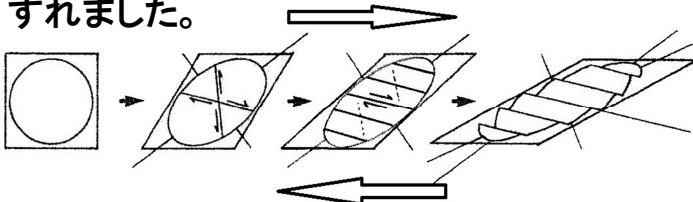
地層中のレキが切れてくいちがい、そのあとまたくっついて、刺身盛りのようになっています。



くいちがいレキが見られる
探してみよう！

はねこし峡周辺などの鑄川沿いのガケでは、赤線の断層と同じ方向にレキが切れていることがわかります。(右横ずれ)

地層にくいちがう力がはたらいて、レキもずれました。



複雑に
ずれたレキ

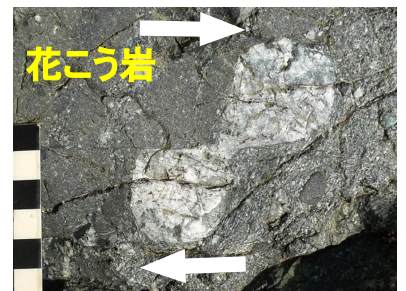
神農原礫岩層
(約 6500 万年前)



花こう斑岩

こんなのも
あるよ！

跡倉層
(約 1 億年前)



くいちがいレキは、地質構造が断層などで乱されている地域で見ることができます。とくに
中央構造線に沿う地域[下仁田町の神農原礫岩、愛知県新庄市巢山の阿寺七滝礫岩]や擾乱帯地域
[福井県河野村の矢良巣礫岩、滋賀県宇治田原町の大福礫岩(湖東流紋岩類)、三重県亀山市の筆捨
礫岩、島根県出雲市田儀の礫岩]などです。

参考：二村(2016)地球科学,70,95-108.;二村(2022)名古屋地学,84,6-16.;二村(2023)名古屋地学,85,5-13.;五ノ井・吉田(2015)日本地質学会講演要旨,606.;木戸(2001)福井市自然史博物館研究報告,48,17-26.;滋賀県碎石協同組合石ものがたり Part2.;島根半島・宍道湖中海ジオパーク「田儀の食い違い礫」<https://kunibiki-geopark.jp/>;高木(1992)月刊地球,14,241-246.

作成：下仁田自然学校 保科 裕